

1 結果の要約

(1) 出生数は減少

出生数は 5,109 人で、前年の 5,300 人から 191 人減少し、出生率（人口千対）は 7.5 で、前年の 7.7 を下回った（全国第 21 位）。

合計特殊出生率は 1.72 で、前年の 1.75 を下回り、全国第 3 位（昨年 は 2 位）であった。第 1 位は沖縄県（1.94）、第 2 位は宮崎県（1.73）、第 3 位は島根県（1.72）、第 4 位は長崎県（1.70）、第 5 位は鹿児島県（1.69）である。

(2) 死亡数は増加

死亡数は 9,694 人で、前年の 9,562 人から 132 人増加した。死亡率（人口千対）は 14.3 で、前年の 14.0 を上回った（全国第 2 位）。

死因別にみると、死因順位の第 1 位は悪性新生物、第 2 位は心疾患、第 3 位は老衰となっている。全死亡に占める割合はそれぞれ 26.0%、14.7%、10.0%である。本県では平成 7 年以降、死亡者のおよそ 3 割の死因が悪性新生物となっている。

(3) 自然増減数は減少

出生数と死亡数の差である自然増減数は△4,585 人で、前年の△4,262 人から減少数が 323 人増加し、自然増減率（人口千対）は△6.8 で、前年の△6.2 より減少率が 0.6 増加した（全国第 40 位）。本県は平成 4 年以降、死亡数が出生数を上回る自然減となっている。

(4) 死産数は減少

死産数は 110 胎で前年の 136 胎より 26 胎減少し、死産率（出産（出生＋死産）千対）は 21.1 で、前年の 25.0 を下回った。死産率のうち、自然死産率は 9.8（前年は 14.3）、人工死産率は 11.3（前年は 10.7）となっている。

(5) 婚姻件数は減少

婚姻件数は、2,662 組で、前年の 2,753 組から 91 組減少し、婚姻率（人口千対）は 3.9 で、前年の 4.0 を下回った（全国第 44 位）。

平均初婚年齢は夫 30.5 歳、妻 29.0 歳で、夫は前年より 0.1 歳上昇、

妻は前年より 0.3 歳上昇した（全国平均は夫 31.1 歳、妻 29.4 歳で前年と同じ）。

（6）離婚件数は増加

離婚件数は 1,035 組で、前年の 949 組から 86 組増加し、離婚率は（人口千対）1.53 で前年の 1.39 を上回った（全国第 39 位）。

表 1 人口動態総覧

	実数			率		平均発生間隔	
	平成 29 年	平成 28 年	対前年増減	平成 29 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 28 年
出生	5,109	5,300	△ 191	7.5	7.7	1 時間 42 分 52 秒	1 時間 39 分 10 秒
死亡	9,694	9,562	132	14.3	14.0	54 分 13 秒	54 分 58 秒
乳児死亡	9	11	△ 2	1.8	2.1	40 日 13 時間 20 分	33 日 4 時間 21 分 49 秒
新生児死亡	4	4	0	0.8	0.8	91 日 6 時間	91 日 6 時間
自然増減	△ 4,585	△ 4,262	△ 323	△ 6.8	△ 6.2	…	…
死産	110	136	△ 26	21.1	25.0	3 日 7 時間 38 分 10 秒	2 日 16 時間 24 分 42 秒
自然死産	51	78	△ 27	9.8	14.3	7 日 3 時間 45 分 52 秒	4 日 16 時間 18 分 27 秒
人工死産	59	58	1	11.3	10.7	6 日 4 時間 28 分 28 秒	6 日 7 時間 2 分 4 秒
周産期死亡	13	17	△ 4	2.5	3.2	28 日 1 時間 50 分 46 秒	21 日 11 時間 17 分 38 秒
妊娠 22 週以後の死産	9	15	△ 6	1.8	2.8	40 日 13 時間 20 分	24 日 8 時間
早期新生児死亡	4	2	2	0.8	0.4	91 日 6 時間	182 日 12 時間
婚姻	2,662	2,753	△ 91	3.9	4.0	3 時間 17 分 26 秒	3 時間 10 分 55 秒
離婚	1,035	949	86	1.53	1.39	8 時間 27 分 49 秒	9 時間 13 分 50 秒

	平成 29 年	平成 28 年
合計特殊出生率*	1.72	1.75

*分母に用いた人口

5 歳階級別総人口（総務省推計）

注：出生・死亡・自然増減・婚姻・離婚率は人口千対。乳児・新生児・早期新生児死亡率は出生千対。死産率は出産（出生＋死産）千対。周産期死亡率及び妊娠満 22 週以後の死産率は出産（出生＋妊娠満 22 週以後の死産）千対である。